

Q21 こどもと若者のまちづくりについて、あなたのご意見・ご提案を自由にお書きください。(自由記載)

- 時節柄もあり、積極的な人々の交流活動がどうしても、憚られてしまいますが、自身の体験として子供会やバザー、地域の運動会の参加は楽しかったので、永続的に続けて頂きたいです。わたくし自身に子供がおらず、従来の学校を通してなどの交流機会を逸してしまったので、残念です。
- 高知は所得が低く、せきかも大変です。若者や子供達が誇れる町作りをしてほしい。
- 企業誘致。賃金の底上げに抛る上昇を目指すべき。
- どの世代にも魅力的なまちづくりが進むと良いなあとと思います。
- 子どもや若者が県外に行かずとも、楽しく健やかにかつ社会的に安定して暮らせるようなまちづくりを自治体比に期待したい。
- 周知がされていないだけかもしれないが、若者の発信の場が少ないように思う。
- 地域でいろいろ活動をしたほうがいいと思うけれども 最近の子供たちは塾やクラブ活動で忙しくて地域で活動する時間が取れないように思う その中で子どもたちに活動に参加してもらう時間を取らなくてはいけないので非常に悩ましい事だと考えます
- 今はSNSとかネット時代になってきたので若い世代が色々情報も集めやすいと思うので色々な事が出来ると思います。不登校とかひきこもりの子供も過ごしやすい世の中になって欲しいです。
- 定期的に意見交換会や勉強会を開催して大人と子供との交流を深めたらいいと思います
- 今後高齢化がさらに進むので、子供だけではなく多世代というのがキーになってくると思う
- 今は若者がどんどん高知から離れて行っています。今の子供達がずっと高知に居たいと思う様な素敵な町になればいいと思います。子供のうちからまちづくりに参加していればもっともっと高知に愛着が湧くのかもかもしれません。こどもと若者が中心となってフリーマーケットをやってもらいたいな。たまにあるけれどお客さんは子供だけだったので大人も行けるフリーマーケットやお祭りやカラオケ大会とか楽しい事してもらいたいです。
- 子供と若者を増やす事自体の、町づくりが先じゃないか？ 枠だけあっても意味がない。
- 子供と若者が交流しやすいイベントや催し物がもっとあれば良いと思います。
- 若い人が住みたいまち、それは結局、働く場があり、楽しめる場があり、のんびりできる場もある、ということかと思う。大学で県外に出ても、卒業したら戻りたくなるようなまち。そういうまちづくりができればよいのだが、実際問題として難しいのではないかと感じる。否定的ですみません。
- IターンやUターンで高知に住む若者が増えていると思う。自分たちのお金儲けよりも生活を豊かにして、それが地域の発展になっていることがあるので、そういう若者達を応援したいと思う。
- 高知は高齢者が多いため、高齢者の声が市に届きやすいイメージがあり、若い人はあまり期待もしていないように思います。ぜひ子どもや若者にとって住みやすいまち、住みたいまちになるよう、若者が高知市の未来に期待できるようなまちづくりをしてほしいと思っています。
- 運動会や祭りもここ数年は実施出来ていないのが残念。
- 自発的に行動したりコミュニケーション能力も身に付くいい取り組みだと思います。
- 子どもが自分の意見を上手く相手に伝えられない年頃まで、一律にマスクを推奨したり、黙食、行事、イベントの中止等、過剰すぎるコロナ対策に疑問を持つ保護者も多く感じます。子ども達の声は大人に届くのか疑問に感じてしまいます。子どもを犠牲にしてまで学校に通わせたいか考えさせられる日々です。声をあげられない子ども達の居場所作り、教育の場が確保されて欲しいと願います。
- 高知に魅力を感じるイベントや機会を増やしてほしい。給料を増やせる方法を考えてほしい。
- 機会が少ないのではないかと。
- どのような街を目指しているのかを提案したほうが具手合い的な議論が出来るように思う
- 全国に先駆けて高齢者が増加していることもあり、社会全体がどういうふうに変化していくのかが大切な課題となっていると感じる。赤ちゃんから若者まで、社会に疎ましく思われることなく愛をもって受け入れられていると感じる事が生きやすさ、郷土愛につながると思う。なんでもいいので、地域に係る事を考えることから始めたらよいのでは？この取り組みはとても大切で重要なもの。さすが高知です！
- 若年層が積極的にまちづくりを行うためには、こどもファンド等の制度を知る機会が必要です。行動のきっかけを大人が作り、興味を持ってもらえれば若者も地域振興に取り組むのではないのでしょうか。ポスターを掲示するだけでなく、イベントがあることを学校で周知したり、可能であれば授業に組み込んだりできればまちづくりを身近に感じるでしょう。
- 声を聞く事は、とても大事だと思いますが、どこの誰に聞くのか、言いたい人ばかりでなく、言えない人をいかに見つけて声を聞けるかも大事だと思います。十人十色それぞれ高知を好きな人にずっと住みたい住みやすい町になってもらいたいと思います。
- 体験参加型のイベントもいいですが、体験苦手な子もいると思うので、リモート参加や、イベント配信などしてもらえたら苦手なこども達も興味をもって、今後につながっていくなもかもしれません。
- 関係ないかもしれないが、通学路の確保をしっかりしてほしい。まだまだたくさん危ないところはあつてと思う。共働きが増えているので朝早く送り出し、通勤でたくさん車が通る中、子供らが通学していつてるのを見ると不安になります。
- 子供に対しての手当て(お金だけでなく)が他県から比べて薄いと感じる。

- コロナ禍ということもあり、この何年も地域の交流が少なかったように思うので、これからは積極的に子供たちが地域の色々な世代の方々と交流できるイベントがあると嬉しい。地域で子供たちを見守ることができる、色々な問題解決にもつながると思う。
- ○小学校校区と通学路の町内会とタイヤアップ挨拶運動。㊦近場にある公園の草引き・公園の積極的有効活用
- 交流の場がある事はとても良いと思う。
- 高知市市民活動サポートセンター事業のとさつ子タウンには以前から関わりをもっており、こどもたちが参画するまちづくりは非常に大切だと思います。
- 地域によってまちづくりに対する温度差があると思います。年代を通して必要性のある防災活動を企業を巻き込みながら活発化出来ればいいなと思います。
- 高知市の夜間中学について、報道等をやっていましたが、子供達や若者が気軽に立ち寄れる場所を作るべきだと思います。その場所で、勉強などを教えたり、遊んだり出来る場所に。親や先生に相談出来ないことを相談出来る場所に。マナー教育も行い、詐欺などに加担や被害者にならないようにすべき。高知は不登校児が全国一とのことですが、非常に嘆かわしく、不登校児が集える場所を作るべきではないか。不登校や引き籠もりは高知の未来を暗くする。高知は不登校が全国一らしいですが、不登校児が立ち寄れる場所を作るべくでは。
- 寺小屋のように誰でも集まって好きなことが出来る場所があったらいい、学生などボランティアで勉強教えてくれるとか、おじいさん達に先人の知恵を貰うとか交流できる場所
- 若者の上京による過疎化が年々深刻になっていると思うので、こういう取り組みはこれからも大切にしてほしいと思います。
- 地域の大人が親切に子ども達を見守る中で、子どもには自立心を持てるような公共での自由な場所を作ってあげられたらと考えます。
- まちづくりの機会を作る。参加するとご褒美もあれば参加者は増える気がする
- 今の子どもは塾やスポーツなどで忙しいと思うので少しでもコミュニケーションが取れるような環境や子どもの声を聞いて少しでも取り入れていくような取り組みをしていてもらいたいです。
- 市広報誌は最低限残しつつ、ライン発信や若者がいくイオンなどでの広報を拡充して高知市の取り組みを知ってもらえる仕組み作りがあればと思います。
- コロナで夏祭りや掃除等が無くなってしまっているので、対策しながら復活して貰いたい
- 高齢化がすすんでいくなかで、世代を超えた交流ができる場のひとつとしてこの活動は有益だと思います。地元で暮らす選択を若者がしていけるよなまちづくりをするためにも、こどもや若者が求めるまちづくりを共有していける活動が活発になるように自治体にも積極的に動いてもらいたいです。
- 幅広く広報活動が必要と感じます。
- こどもや若者が自主的に行動できるような取組が必要だと感じます。お役所仕事のようなガチガチな内容ではなく、もっとフランクに気軽に取り組めるような内容の取組を、こどもや若者と一緒に考えてみるのはどうでしょうか？役割を持つことで動く子もいます。そこから周りを巻き込んでいく活動ができれば、今の子どもたちは積極的に動いてくれると思います。
- こども、こどもって、この高齢化社会でズレてると思います。大人がまともで楽しく生活していたら子供は自ずとまともにも育つ。
- 高知市の取り組みを実体験としては分かりませんが（高知市外の出身なので）、子どもが生まれてからはとても気になる課題でした。今後取り組みに注目したいと思います。テレビを見ませんので、テレビ以外での魅力的な告知や報告を期待します。
- 違う世代の交流がもっとあればいいなと思います。
- 時間のゆとりがなく、まちづくり、に参加したくてもできない残念。
- 多世代が交流するのは大切だとおもいます。災害の時などに役立つと思います。
- 我が家の子どもにも参加させてみたいです。
- 初めて聞く名前の事に、説明もなしに、評価もなにもないです。評価を聞く前に説明してください。なかば適当に答えざる終えない。前回のアンケートと同じく、質問と回答欄に無理やりがある。
- こども、若者が少なく年寄りが多いため、若者が県外から高知に来てもらえる街にしないとイケない。
- コロナが長引いたせいで人とのコミュニケーションが希薄になったように思います。子供さんも学校の登下校以外見かけることが少なくなりました。家でゲームしてる子供さんが多いのかな？と思います。我が子もそうですが、高校までは高知で過ごしても、大学進学や就職なると県外へ行ってしまいう子供さんが多いですね。予算が少ないから難しいと思いますが、楽しいまちができたらいいなと思います。
- 街が好きになり、県外に出ても行事の時には戻ってくるような仕掛けがあったらよいと思います(千葉市出身ですが、夏祭りがそれに当たります)。
- 鏡川、筆山の自然を生かしたイベントがあったらいいと思います。
- 子どもたちが将来高知を離れても、「高知が好きやき戻ってきたい」と思えるまちづくりを期待しています。
- 若者がもっと遊べる場所を作って欲しい。行くところがAEONか街位でつまらないと思う。

- 子供や若者の定義（線引き）が不明。本来ならば、市議員や町内会などの組織が、いわゆる、日頃から、その地域（選出の地盤）の若者達との交流のみならず、多くの住民との交流や懇談を行うべきではありませんか。選球前の活動だけでは議員失格。私の住んでいるところでは、議員との意見の交換会など行ったことがない。給料目当ての議員と化したのではないのか。若者達のみならず多くの市民の声も聞くべきと考える。
- 若者達に高知をもっと好きになってもらうきっかけになり、家族以外の交流の場になる。核家族化の社会なので親とは違う大人とかかわることで安全安心に暮らす世の中になっていけると期待します。
- 子供と若者が一緒に何かをするというのは、いい事だと思います。
- あまり気を付けて見聞きしてなかったもので、これからは積極的にアンテナを張っていきたい
- まちづくりのみに特化すると良くない。とにかく自由な発想や感性を大事に、大人が手助けする程度の関わり方でアイデア募集する様な取り組みが、実現出来れば素晴らしいですね。
- 地域の老人会と子供会が一緒になってする行事が増えればいい 地域に手先の器用な老人や物知りの老人がいるので 教えてもらう集いがあればいい
- こどもや若者の声をきくことはできると思いますが、それを実践するために市がどのぐらい動いてくれるのかなと思いました！
- 私が子供の頃は、不燃物の日には子供たちが高齢者家庭を回ってゴミを回収していました。お手伝いが終わるとジュースやアイスがもらえ楽しかった思い出です。地域での繋がりが薄い昨今でもこのような活動ができれば良いと思います、
- 若者が都会に出て人口も減ってきているのもっと子育てしやすく仕事もあつて魅力的な街になって欲しいです。
- 子どもの、教育、育成にお金を使って欲しい。
- 学校と協力して浸透させて、意識を持って貰ったりイメージしてもらえたら良いと思います。子供達目線の高知を教してもらって発信したり取り入れたりするのもありかなあと考えます。
- まちづくりについて子どもたちに関心もてるまちになってほしい
- こどもたちの主体的なまちづくり活動を応援したいです。 こどもを中心として、幅広い年代層の人たちがまちづくりに関われるよう、まずは自分自身、地域の活動に参加してみようと思います。
- 若者が高知に生まれて良かったと、言えるまちにしたいってほしい。
- 非行に走っている若者へのアプローチも必須。ここ数年、近くの公園には中学・高校生がたむろしてタバコを吸っている。大人が注意しても無視。警察が来ても次の日にはまたたむろしてタバコを吸っている。
- 家庭では学べないことや、人とのつながりが、自分がこまったとき:に、悩みを相談できる環境を作る事の大切さをつくる。
- 県外大学に子供が進学した後高知で就職できる土壌をもっと作ってほしい。若者が少ないため街づくりが硬直化しているように思われる。(県外よりUターンして2年目です)
- この質問は、「子どもや若者」を対象にしているので、ここで記すことではないかもしれませんが、「子ども」とともに「高齢者に優しい(親切にする)まち」こそ、住みやすく、かつ幸福度が高いと言えらると思います。このため、市の政策も「子どもと高齢者」を別々にせず、一体化したまちづくりの視点で実施することが大切ではないかと思えます。 あわせて、身近な活動として、「子ども(主として、小学生)が通学の際には、地域の人々に挨拶(おはよう、こんにちは)することを学校で教えてはいかがでしょうか? 声を掛けられた人たちもきっと返事をするでしょうし、それらの「挨拶(声掛け)運動」が明るいまちづくりに寄与するとともに、子どもたちの防犯にも役に立つと思います。
- 校区単位の地域教材を作成し、小学校では子供たちが暮らしている地域を知り、中学校で問題意識を持つことができ、行動することができる青年を育成するカリキュラムを作り実施してほしい。
- 町内会の万年班長9年目です。まず、転入して来た若い方に、まず町内会に加入していただくことから、始めたいと思います。 回覧板etc. で、町内会の取り組みを知っていただき、参加できるものには、参加していただけたら...と、思います。
- 主体となることで、地域、ひいては社会に対しての意見を持てるようになればいい
- 子供というよりは、高齢の街のイメージがある。もう少し働く人に工夫した事も必要ではないか。
- 今のご時世色々な事を経験して、大きく羽ばたいてほしい。
- 子供が小さい頃は町内の夏祭りや地区の運動会で幅広い年代ともコミュニケーションもとれるが、中学校以降は中々参加しなくなってくる。 そのような年代が興味を持てるものがあれば良いと思う。
- こどもが1人でかけても安心できるまちになって欲しい
- 高知は高齢化が進んでいます。今、高齢者が元気がなくふさぎ込みがちだと思います。自分たちがいざれ通る高齢者の道が希望に満ちあふれている街づくりをすることが、ひいては、こどもと若者が輝く街になると思います。高齢者を孤立させない、生きがいがある街づくりと、こどもと若者のまちづくりを一体化で考えてほしいです。
- 学校で子ども達と話し合い、出た意見を発表できる場があればいいと思います。
- なかなか難しい問題のように思えます。 人との関わり色々難しい時代になってきていると思えます。思いやりのある人作り、町作りになればいいと思うのですが、なかなか難しい。 まずは挨拶と感謝の心を。
- 子ども達が積極的に自分の街を学んだり活動するのは良いことだと思います。興味を示すのは毎回同じ一部の子どもだと思うので、それでは意味がないのかな、と感じます。学校教育での授業として全生徒が取り組める形はいかがでしょうか？

- 世代をこえたコミュニケーションがとれるまちづくりができればいいと思います。
- 子供や若者は未来を意味すると思う。過去よりも未来重視の社会作りをしてほしい。
- もっと自由に子供たちの意見をきく場があればよい
- 今は、発達障害のお子さんも増えて、個性のある子ども達が生きにくい地域になっています。もっと、もっと、その子と保護者がありのままで生きやすい地域にしてほしいです！！
- こどもと若者だけじゃなくて老若男女皆が住みよいまちになればいいと。高知市に住んで6年目ですが、働きに出ていない事もあり狭いコミュニティで生活してます。なかなか広がりません。こどもにはもっと色々交流や体験させてあげたいですが、なかなか。コロナのこともあり、私も狭いところで生きているのでどうしていいかわかりません。積極的に外に出て情報を集めたらいいのですが、勇気がいります。
- 児童館とか、天気の悪い日も遊べたり集まれる場所を作ってほしいです
- 公園はあるけれど、遊べる環境でない公園が多いと思います。また、ボール遊びもできない公園ばかりなので、公園で遊べるようにしたら、交流もしやすいです。
- いい取組なので、寄付も大切ですが、市の予算等の増額や広報活動、子供たちの意見の集約などにより、子供のまちづくりへの積極的な参加を促すような活動をお願いします。
- 子ども達や若者の斬新な意見を聞くことで為になることもあると思うのでどんどん聞いてほしい。いつまでも自分の町を大好きであってほしい。
- こどもと若者のまちづくり…関連性を考えたことがなかったのですが、とても良いことだと思いました。いじめがなくなるともっと良いのですが。
- 遊べない古い遊具のままの公園を整備してほしい。歩道と車道が一緒の道があるので整備してほしい。
- こどもと交流する機会がないのでよくわかりませんが、将来的にも若い人がいろいろな活動をするのはいいことだと思います。
- 正直、古い人の考えは変えるのは、難しいです。新しいことはなかなかGOを出してくれないのではと思ってます？
- 子供たちから出た意見を、広く公開するものがあれば良いと思う。新聞、ホームページ、ちらし、学校の配布物、テレビなど。。。
- 若いうちは、まちづくりなどには、興味が持てないと思います。やりたければやったらいいし、いやならやらなければいいとおもいます。
- 老人が多いので、子供や若者に支えて行って貰わないといけませんが、仕事が少なく、賃金が少ない。まず、雇用や賃金を上げる事から始めるべきだと思います。
- こどもや若者の声を聞く事も大事ですが、いろいろな世代の方の声を聞く事が一番大切な事だと思います。今のこどもや若者は世代を超えたコミュニケーションが出来る方が少ないように思います。まずは、地域活動の充実が大切だと思います。そこで、いろいろな世代の方が、それぞれの立場の方を知り、学ぶ事も多いと思います。
- 子供・若者たちのまち作りは大事ですが、育てている保護者やその親といった、各世代にいろんな角度でフォーカスを当てて、みんなが居心地の良いまちを作れたらいいですね。
- まずはこどもと若い人に町内会を身近で楽しい集まりに感じてもらいたい小さいことからそれぞれの『こんなことができたよなあ』と思うことを大人高齢者も協力して一歩ずつ実現させていく
- 地域で世代間交流ができるイベントなどが定期的にあると良いと思う。子どもの頃、子供会活動が盛んで、地域の子どもリーダーとして関わった思い出がある。現在、このような活動が身近ではない。自分の子どもにも体験させてやりたい。
- 高知に魅力を感じられるようになってほしい。
- いくら本人が働きたくても妊娠、出産を理由に離職せざるをえない若者は多いと思います。（私は妊娠を理由に雇用契約の更新を認めてもらえませんでした）経済的に厳しくなり地域社会との繋がりが希薄になります。子育てが体力・精神共に辛くても、有料の支援を受けるのは躊躇します。市には誰もが利用しやすいハードやサービスを作るだけではなく、利用しやすい環境を整えてほしいです。また、産前にパパママ教室を受講したかったのですが、何回電話してもいつもすぐに予約が埋まるため結局受講することは叶いませんでした。開催頻度や日程について改善してほしいです。
- 地区の高齢者の割合も高くなり、若者や子供を大切にしながらかかわってもらい、盛り上げてもらいたい。近所同士のかかわりも年々少なくなると感じるので、地区の活動などを通して、交流がもてたら良いと思う
- 親として、自分の子どもが成長しても同じ地域で暮らしてほしいという願望があります。しかしながら、自身の就学・子育てを振り返れば、他県の環境や企業展開の方により魅力を感じる点が多く、本人のためには県外へ出ることを推奨する面もあります。私自身が社会人となってから高知へ帰郷した理由は、親への感謝から近くで生活してあげたいという想いが一番優ったからでした。望郷の念に頼ることなく地域そのものに愛着を持ってもらうこと、成長のための社会環境を整備しそれをこどもが実感してくれることが重要と考えます。自分の時代と比較してこどもにとっての遊び場（公共の場や私有地を含めて）が減少・制限されていると感じます。行政・民間の空き地等の有効活用や自然環境資源を生かした遊び場作りを希望します。
- 子供参加のワークショップがコロナ禍前のようにあちこちでひらかれるようになってほしいです。
- 高知ですっと住み続けるにはどういうことが必要でどういうことがあれば嬉しいか等、子どもたちや若者から意見を募り討論する機会を定期的に設ける場があればいいと思います。

- あまり自分の住む場所に対して思い入れがなかったので、どうこうしたいという気持ちがなかったが、強制ではなく、やりたいと思う若い子たちの気持ちを汲んでくれる仕組みはいいなと思う。